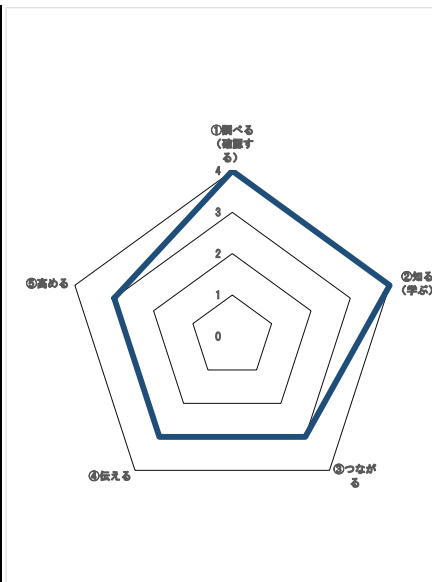


幌別西小学校区

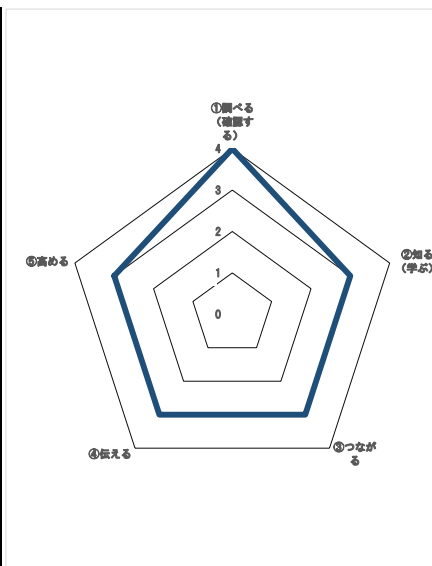
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	「高齢者の見守りをするために必要なこと」をテーマに住民座談会を開催し、各地区の現状や取り組み内容等について確認することが出来た。また、43名の出席と昨年度よりも多く、意識が高まっていると感じた。	4	継続して、各種会議等を開催する。また、住民座談会とは別に研修機会等を設けることも検討する。
②知る(学ぶ)	住民座談会を開催し各地区の見守り状況や他町内会の活動について知る機会を設けた。	4	住民座談会を通して地域の実情把握を行う。
③つながる	住民座談会及びきずな推進委員会を通して、各町内会や民生委員とのつながる機会を設けた。	3	今後も各関係機関(専門職等)に住民座談会への参加を促す。
④伝える	昨年度より、新たな推進委員が加わったことで、各単位町内会に対してきずなへの理解を促すきっかけ作りとなった。	3	新たな推進委員も含め、各地区の状況確認及びきずなの普及を進める。
⑤高める	住民座談会の開催等もあり、一定以上の取り組みは出来た。	3	推進委員会内において各地区の状況確認を行いながら、地域ニーズを明らかにしていく。



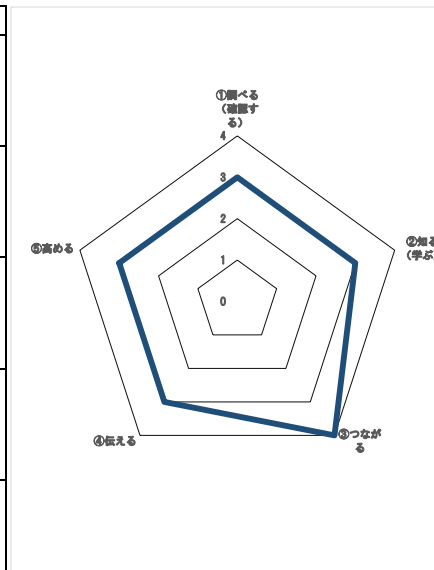
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	依然として、台帳の配布及び周知は全市の割合からみても高い実施率である。(校区内76.9%、全市73.9%)	4	校区内町内会への改めての周知、開拓を進める。
②知る(学ぶ)	住民座談会で各地区との意見交換を行い、取り組み状況や現状を確認した。	3	継続して行う。
③つながる	各地域での差はあるが、推進委員の増加及び住民座談会の開催により、最低限の周知活動等は出来た。	3	継続して行う。
④伝える	昨年度より推進委員が加わったことで、本活動が各地区へ伝わる経路を作ることができた。	3	継続して行う。
⑤高める	新たな推進委員との連携を強化し、継続して町内会活動や民生委員との繋がりを高めていく。	3	継続して行う。



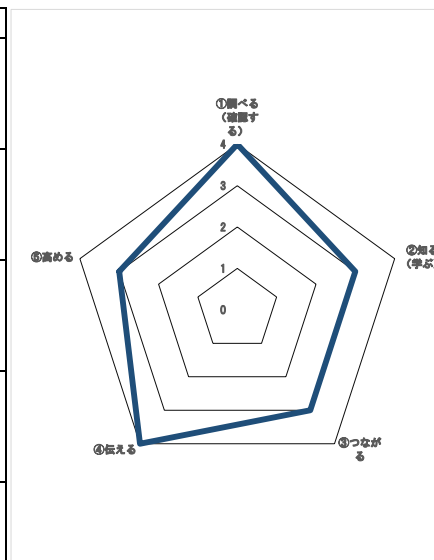
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロンの推進)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	既存サロンの活動は定期的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動等を行うことで、独居高齢者や日頃関りの少ない方との接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	民生委員や専門職にも参加してもらうことで、地域住民との関わりを深めることが出来た。	4	引き続き、専門職にも協力をもらえるよう働きかける。
④伝える	日頃の福祉活動がきずな活動でもあるが、普及及び浸透としては不十分である。	3	各者の活動がきずなとしての活動でもあることを携わる方々に理解してもらう必要がある。
⑤高める	支援者、利用者ともに地域の居場所としての機能している。	3	継続して行う。



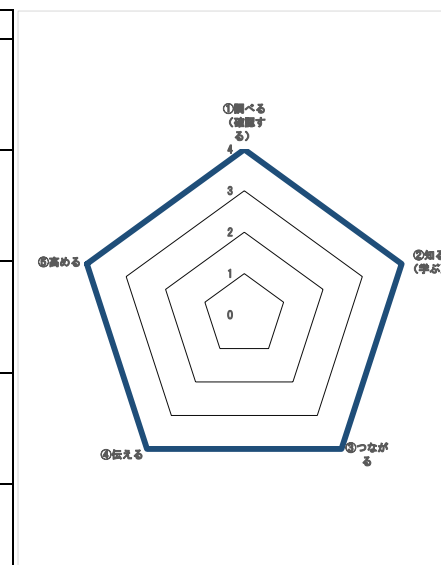
世代間交流(子育て支援、世代間交流活動の連携・情報共有)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	各地区ごとに季節行事や年齢層に合わせた行事等を行い、若い世代との関わりを持つことも出来た。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	子育てサロン等において、若い世代との交流や接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	子育てサロンや各町会行事に参加することで、各世代との接点づくりを行えた。	3	さらに町会行事等への参加や子育てサロンへの支援・協力を進めていく。
④伝える	住民座談会の参加状況や推進委員会の増加もあり、密に活動出来ていると考える。	4	継続して行う。
⑤高める	委員が世代交流の場に参加し、きずなを知るためのきっかけ作りは行えたのではないか。	3	継続して行うとともに、対象者の意見等を集約できるような場を検討する。



防犯・防災活動(避難訓練の実施や緊急時の連絡体制の整備)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	避難訓練及び住民座談会において、他地区の防災意識や取り組み状況について確認出来た。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	地区ごとではあるが、各施設や老人クラブ等の防災訓練を行い、知識及び意識向上に繋がった。	4	継続して行う。
③つながる	住民座談会や避難訓練時等を行い、意見交換や他地区との連携を図ることが出来た。	4	昨年度同様、学校や専門機関等も含めて、広域な人たちとも関わりを持ちたい。
④伝える	住民座談会等を通して、各地区での取り組みを知る機会となり、推進委員が加わることでより活動内容の浸透を図ることが出来た。	4	継続して行う。
⑤高める	地域の高齢者等だけでなく、児童も取り組めるよう各地区での周知に努めた。	4	継続して行う。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	島田 幸一	きずな推進委員	宮地 真治	きずな推進委員	村井 寿行
サブリーダー	鈴木 尚美	きずな推進委員	工藤 章造	きずな推進委員	中田 咲江
サブリーダー	石山 典子	きずな推進委員	岡田 敏治	きずな推進委員	木村 俊子
きずな推進委員	三浦 忠夫	きずな推進委員	小沢裕美子	きずな推進委員	細川 重雄
きずな推進委員	太田 通	きずな推進委員	内山 雅義	きずな推進委員	楠本 賢一
きずな推進委員	伊藤 信一				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
5月22日	第1回幌別西小学校校区きずな推進委員会	9名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
1月17日	第2回幌別西小学校校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の内容について
2月18日	幌別西小学校校区住民座談会	43名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「高齢者の見守りをするために必要なこと」
3月28日	第3回幌別西小学校校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の振り返りについて 今年度の校区きずな活動の評価について 次年度の校区きずな活動の内容について

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

柏木町内会	山手町内会	望洋団地町内会
柏木団地町内会	新川町内会	片倉町内会
プレハブ町内会	香風町会	西団地町内会
新和会		

実施率 76.9% (10 / 13)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

サロン皆の衆	ふれあいサロン
風と共に歩こう会	なのはな会
香風町会ふれあいサロン	

ふれあい会食会

柏木町内会	新川第二町内会	片倉町内会
柏木団地町内会	香風町会	西団地町内会
新和会	望洋団地町内会	

実施率 69.2% (9 / 13)